

## ソレイユプロジェクト 珠洲市・志賀町・能登各所で復興ボランティアを実施

団体名●ソレイユプロジェクト／代表者名●高島 悠（進路支援課）

### ソレイユプロジェクトとは？

「ソレイユ」とはフランス語で『太陽』という意味です。仲間と協同することで働き方の実践意識を高め、太陽のような光り輝く人間力を培うプロジェクトです。

### 大谷鯉のぼりミニフェス 大谷塩の普及活動

5月4日(日)、大学・短大部の2年生を対象に、今年度初の「ソレイユプロジェクト」を実施しました。珠洲市大谷地区製塩関係者から寄せられた「珠洲の今を知ってほしい」という声から、2年ぶりに開催される「大谷鯉のぼりフェスティバル」の運営ボランティアとして地元の方々と交流しました。震災と豪雨で水害に遭った揚げ浜式製塩の「大谷塩の普及」をテーマに、大谷塩の魅力が伝わる試食品(レンコンチップス、五郎島金時さつまいもチップス、塩レモンサイダー、塩キャラメルなど)を手作りで創作し、フェスティバルの来場者に無料で振る舞いました。当日の大谷塩の売上げは100袋を越え、観光客や地元の方々に珠洲で産まれた塩を「味覚」を通じて知ってもらい取り組みになりました。また、子供達との交流として、「こども縁日」の出店や「星稜こいのぼり」を制作するなど、珠洲に元気を届けることができた1日となりました。



### 富木八朔祭礼に「祭りお助け隊」として

8月24日、志賀町で開催された伝統祭「富木八朔祭礼(くじり祭)」に、大学2年次の学生14名が地域貢献

ボランティアとして参加しました。

今年度から石川県が公募する「祭りお助け隊」事業に申請し、要請を受けて実現したこのイベント。能登復興を掲げて地域のお祭りに参加することで、地域行事の担い手不足を補い、若者が地域社会とつながることを目的にソレイユプロジェクトとして実施しました。

志賀町相見地区の壮年会の方々と一緒に神輿を担ぎ、太鼓のリズムを教わりながら、地域の一員として志賀町内を練り歩きました。学生達は白昼から深夜まで疲労困憊になりながらも、力を合わせて行動することの大切さや、地域の伝統や人とのつながりの尊さに触れ、社会人として必要な主体性や働きかける力を実践的に学ぶことができました。



### 3年次ソレイユプロジェクト「能登復興」2025

今年度は特番ソレイユプロジェクトとして、6月に3年次の学生53名の有志でグループを結成し、震災から立ち上がる能登地域に寄り添い、「文化の継承」「地域交流」「復興への兆し」を軸に活動を行いました。プロジェクトには3つのチームがあり、9月～11月にかけて、全チームが主に地域と連携した取り組みを実施しました。

## A チーム【お祭り応援隊】

8月～9月、学生10名のチームで、能登地方の伝統行事「キリコ祭り」のPRを主軸に、震災後の地域に活気を取り戻すことへの広報活動を行いました。震災の影響で規模を縮小しながらも続く祭り、「今、私たち若者にできることは何か?」と自ら問い、実際に現地の祭りに学生応援隊として参加しました。キリコの一部として使用される壁面に、学生たちで描いた「つなごう! 能登の笑顔」とメッセージを添えたこの壁画には、地域へのエールと復興への願いが込められています。若い世代にも伝統文化の価値を伝えるため、「どうすれば目を惹きつけられるか」「どうすれば足を運んでもらえるか」といった視点をとらえ、来年度も引き続き広報活動を続けていきます。



## B チーム【能登グルメフェス】

10月12日(日)、学生25名のチームで地域の食と交流を通じて活気を取り戻す「食フェス・こども縁日」を輪島市で実施し、約200名の地元の方々が来場されました。食フェスでは、能登産のサツマイモを使った豚汁やホットドッグなど、地元食材の魅力が伝わるメニューを提供。こども縁日では、サンドアートのワークショップや、能登にちなんだクイズを取り入れた射的・輪投げを実施し、子どもたちが楽しみながら地域への関心を深められる工夫を盛り込みました。さらに、能登の観光地を地元の方々とともに再発見するコーナーも設けるなど、世代を超えて地域の魅力を共有する機会を实践。輪島市役所とも連携し、市内の幼保施設や仮設住宅にも広く周知を行うことで、地域コミュニティの再生とつながりの強

化に寄与する貴重な活動となりました。



## C チーム【ごちそう運動会 in 能登】

11月30日(日)、学生18名のチームで田鶴浜体育館にて、体を動かす楽しさと食を通じた交流を大切にした企画「運動会・100人カレー」を開催しました。当日は親子連れを中心に約50名の地元住民が参加し、会場は和やかな雰囲気に包まれました。

18名の学生が中心となって考案した手遊び運動や玉入れなどの競技では、子どもから大人まで楽しく参加でき、競技を通して世代を越えた交流が生まれ、笑顔の絶えない時間となりました。昼食には、下野農園様よりご提供いただいたサツマイモや能登産の新米を使った手作りカレーライスを提供。参加者全員で食事を共にすることで会話も弾み、運動で温まった体とともに心までほっとするひとときを共有することができ、地域のつながりを感じられる貴重な機会となりました。

